

【Insectopia (インセクトピア)】とは： insect (虫) と utopia (理想郷) を掛け合わせた造語
『虫たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。



春本番。害虫の活動期へー 3月から始める予防のポイント

冬の寒さが和らぎ、街や暮らしに春の気配が感じられる3月。この時期は人にとって過ごしやすくなる一方で、害虫にとっても活動を再開する節目の季節です。本号では、春先に害虫リスクが高まる背景と、3月から意識したい予防の考え方についてご紹介します。

春に高まる害虫リスク

多くの害虫は、冬の間を建物の隙間や配管周り、什器の裏などで静かに過ごし、越冬します。3月頃から気温が安定して上昇すると、これらの害虫は再び活動を始め、エサ・水・隠れ場所が揃えば繁殖が一気に進みます。特に春は、ゴキブリ、ハエ・コバエ類、シロアリなどの発生に注意が必要です。これらの害虫は、「まだ出ていない今」だからこそ対策が有効です。

3月からできる「早めの予防対策」

春の害虫対策は、基本的な管理の見直しが重要です

- 建物の隙間・破損箇所の点検
- 排水口や配管周りの清掃
- ゴミや食品残渣の管理ルールの再確認
- 倉庫・バックヤードの整理整頓

飲食店や宿泊施設、商業施設にとって、現状の衛生管理が運営実態に合っているかを見直す良いタイミングです。

ゴキブリやハエ、シロアリなどの害虫は、気温の上昇とともに繁殖活動を始め、人間の生活圏にも侵入しやすくなります。春本番を迎える前の3月は、一年の衛生管理の基盤を整える重要な時期です。小さな点検や早めの対策が、これからの季節をより衛生的に過ごすための土台づくりにつながります。今のうちに、普段の管理状況を見返しておくことが大切です。

専門家による“予防管理”という選択

ー ペストコンサルテーションの視点 ー

近年、単一店舗の衛生トラブルが発端となり、全店レベルの一時休業や大幅な売上減に波及した事例も報じられています。こうしたリスクは、日常管理の徹底に加え、“起こる前に塞ぐ”といった予防的な仕組み化が、安定的なリスク低減の鍵を握ります。ここで重要になるのが、専門家の知見に基づく“予防管理体制の構築”です。

シェルグループによるペストコンサルテーションでは、

- 建物構造と管理体制を踏まえた総合リスク評価
 - 経営リスクにつながる潜在リスクの可視化
 - 現場で機能する実装型予防プログラムの設計
- を通じて、害虫が入り込みにくく、定着しにくい環境を構築します。

発生後の対応だけでなく、“起こりにくい環境をつくる”ことは、現場の衛生品質を守るだけでなく、営業停止・ブランド毀損といった経営リスクの低減にも直結します。

シェルグループは、予防と駆除の両輪で都市の衛生品質を支えます。私たちは、ペストコンサルテーションを通じて、“人と自然が共存できる都市衛生”の実現を目指して取り組んでまいります。

ー 建築と衛生をつなぐ、新しい有害生物対策 ー
新事業「ペストコンサルテーション」



展示会出展レポート

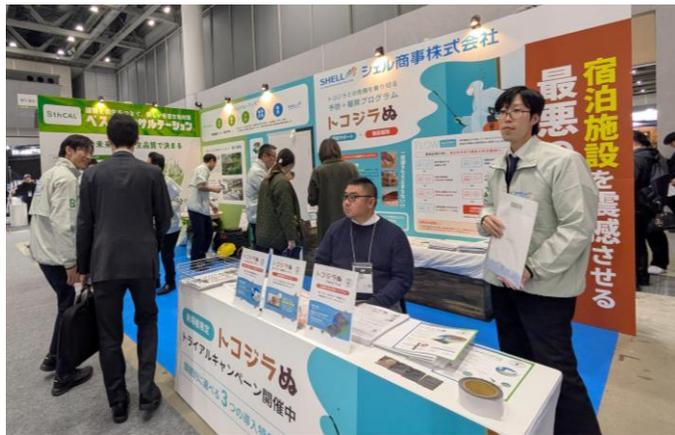
「HCJ2026 国際ホテル・レストラン・ショー」に出展しました

2026年2月17日から20日の4日間、東京ビッグサイトで開催された「HCJ2026 国際ホテル・レストラン・ショー」に出展しました。

今回は、トコジラミの調査・予防・対策を一体化したサービス「トコジラめ」と、建築計画の初期段階から衛生リスクを設計に組み込み、建物全体の“有害生物発生リスクを軽減”する新サービス「ペストコンサルテーション」をメインテーマとして紹介しました。

展示会概要

「国際ホテル・レストラン・ショー」は、ホテル・旅館、レストラン、給食・ケータリングなど、ホスピタリティ・フードサービス業界に特化した日本最大級の商談専門展示会です。宿泊・外食業界の関係者が、人手不足、省人化、DX推進、インバウンド対応といった課題解決策を探す場として広く活用されています。今回の来場者数は 55,146名 に達し、会場は多くの業界関係者で賑わいました。



来場者の反響

今回初めて実施した「トコジラめトライアルキャンペーン」には、想定を上回る多くの応募が寄せられました。この反響から、トコジラミ関連のニュースは一時期より落ち着いた見えるものの、宿泊業界の現場では依然として強い関心と警戒が続いていることが改めて明らかになりました。また、新たな取り組みとして紹介した「ペストコンサルテーション」には、特に新築計画に携わる建築業界の皆さまから多くのご相談をいただき、建築段階での侵入リスク評価に対するニーズの高まりを実感する機会となりました。

今回得られた反響を糧に、これからも宿泊施設・観光業界へ向けて積極的に情報発信を続けてまいります。ペストコンサルテーションとトコジラミ対策を軸に、予防型の都市衛生の重要性をわかりやすく、そして実践的に伝え、安心・快適な滞在環境づくりに貢献していきます。

●トコジラめサポート

トコジラミ予防×駆除サービス受付中

- ▶▶[詳細HPはこちら](#)
- ▶▶[資料ダウンロード](#)



今月のInsect



写真/解説
中峰 空
8thCAL技術顧問
真面目公園昆虫館館長



トビモンオオエダシャク
(鷹紋大枝尺蛾)
チョウ目シャクガ科
学名: *Biston robustus*

オスの開張50~60mm、メスで80mmにもなる大型のシャクガ。成虫は年1化で2月から5月にかけて見られる。幼虫はブナ科、バラ科、カエデ類、ミズキ、ツバキ科などを食べる広食性で、終齢幼虫は80mmほどの巨大なシャクトリムシになる。幼虫の頭頂の左右が動物の耳のように突き出し、愛嬌のある顔に見えるので人気がある。

Information

害蟲展season7 スポンサー募集中!

害蟲展では、取り組みにご賛同いただけるスポンサー企業様を広く募集しております。

👉[ご協賛募集の案内はこちら](#)



皆さまのご協力を、心よりお待ちしております。

👉[ご登録はこちら](#)



●Pick up 展示会情報

サーキュラー・エコノミー EXPO (春展)

※**シェルグループの出展はありません**

会期: 2026年3月17日(火)~3月19日(木)

会場: 東京ビッグサイト

▶▶[詳細はこちら](#)



Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから!

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を配信中です。

